



山王小だより

男子218名 女子194名 計412

令和6年4月8日 No.1
狭山市立山王小学校
〒350-1316 狭山市南入曽 55 番地
Tel 04-2957-4857
Fax 04-2957-4864



ご入学・ご進級おめでとうございます

校長 市川 博康

令和6年度が始まりました。お子様の御入学、御進学、誠におめでとうございます。私は、このたび、4月1日付けをもちまして、関口 循子校長の後任として着任いたしました市川 博康と申します。前任者の業績を継承し、子供たち、教職員、保護者・地域のみなさまと一緒によりよい学校をつくってまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本校では、学校経営の基本理念を以下のように設定しています。

- 1 「共有」 学校・家庭・地域が教育活動を通して、ともに育み合う学校
- 2 「今日育」児童の変化に気づき、即座に対応できる学校



山王小 キャラクター

左：笑顔ちゃん 右：元気くん

★一人一人の「自律する力」を身に付ける★

予測困難な時代に自分で考え、判断し、行動できる「自律する力」（これを「生きる力」「非認知能力」「主体性」などと言い換えたりします）の基礎をつくるのが学校と捉えています。

子供たちが大人になるときは、

- ・ 予測が困難な時代
- ・ 転職する選択肢の数が増え、人生で数回の転職は当たり前の時代
- ・ 自分だけのスキルを高め、日本の人口減少やオンリーワンの人材確保、転職等に対応する時代
- ・ ウェルビーイングの期間が長く、DX時代で無駄を省き、時間を効率的に活用する時代

等とされています。

高度成長期（物を作れば売れ、終身雇用制度）時のように、言われたことを黙々とこなす時代から、変化の多い現代社会だからこそ、「自分で考え、判断して、行動できる」たくましく生きていける力を学校、家庭、地域で育てていきたいと考えています。

★子供は失敗やトラブルから学ぶ★

子供は、失敗から学び、失敗を重ねながら、我慢することや譲り合うことの大切さに気づき、思いやりの心が育ちます。また、喧嘩等のトラブルを経験して、解決の仕方を学びます。しかし、最近では失敗することを恐れ、挑戦させなかったり、トラブルが起きると、先生や親が仲裁に入り、すぐにジャッジしてしまったりする傾向があります。トラブルや失敗は子供にとっては学びのチャンスです。どうして欲しいのか、今後どうしたいのかを大人が聞き、子供たちで対話して、自分の力で解決するスキルを身につけさせ、失敗やトラブルを「学び」に変えたいと考えています。



学校生活が楽しい日々になることはもちろんのこと、子供たちの未来のために、私たち教職員一同、学校教育の専門家として自らを高められるよう努力いたします。

一年間、よろしくお願いいたします。